

○三陸北部森林管理署・久慈支署の「採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年7月6日（木）に岩手県久慈市宇部町の小倉国有林で開催された「令和5年度 採材検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、支署管内の林業事業体など総勢36名の参加を得て開催され、今回の採材検討会ではスギとアカマツの採材について検討を行いました。久慈支署長の挨拶後、支署の担当者から現地の概要、スギや広葉樹における採材の考え方や現状等について説明があり、会場に準備した根腐木について、実際にチェーンソーで切断し腐れの深さを確認するデモンストレーションを行った後、採材の検討に移りました。

事前に試供木として準備した1本のスギと2本のアカマツを対象に3班に分かれ、曲がりや節等の欠点について意見交換を行いながら採材方法の検討を行いました。その後、検討結果を各班の代表者が発表し、岩手県森連の担当者から、採材に際して留意すべき事項や、広葉樹やアカマツの取り扱いについて説明頂きました。

青森事務所からは、需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹については定尺にこだわらずできるだけ長く一般材として採材するよう説明させていただき、作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」に関しても協力をお願いしたところです。また、労働災害の防止に努めるよう安全についても説明させていただきました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(根腐れの深さ確認)



(各班での採材検討)